戸開走行保護装置
定期検査及び定期点検の項目・事項・方法・判定基準

大臣認定番号　ENNNUN-1576　UCMP 型式　DBRT-1 型
ENNNUN-2127　DBRT-1A 型

発行：平成 30 年 6 月 25 日　Ver.2

	検査項目	検査事項	検査方法	判定基準
(1)	巻上機	型式	目視により確認する。	型式が大臣認定を受けたものと異なること。 型式：PM3T
		油の流出状況	目視により確認する。	油が流出していること。
(2)	UCMP 盤	取り付けの状況	触診にて確認する。	取り付けが堅固でないこと。
		型式	目視により確認する。	UCMP 盤に取り付けられた銘板の型式が大臣認定を受けたものと異なること。 インバータ型式：OVF　型式：21756ADS OVF2　21756ADT
(3)	安全制御プログラム	型式	安全制御プログラムが搭載されたマイコンの型式を確認する。	基盤等に記載された型式が、大臣認定を受けたものと異なること。 プログラム型式：31588(ENNNUN-1576) 31588AAB(ENNNUN-2127)
(4)	つま先保護板	取付けの状況	目視及び触診により確認する。	取付けが堅固でないこと。
		長さ	かご床面からつま先保護板直線部までの長さを測定する。	所定の長さ(68.5cm)未満であること。
(5)	特定距離感知装置	作動の状況	動作位置を確認する。	着床位置から±105mm 以内の位置で動作しないこと。
		劣化の状況	経年を確認する。	設置後 10 年を経過していること。
(6)	ブレーキ (常時作動型)	型式	目視により確認する。	型式が大臣認定を受けたものと異なること。 型式：　20237ABD
		トルク調整	金尺等によりバネの長さを測定する。	バネの設定寸法が規定範囲から外れていること。 規定範囲：　87～102 mm
		パッドの厚さの状況	金尺等によりパッドの厚さを測定する。	パッドの厚みが 2.5mm 未満であること。
		パッドの状況	目視により確認する。	パッドに欠損、割れがあること。
		保持力の状況	両側ブレーキの保持力を確認する。	積載 125%でかごを保持できないこと。
			片側ブレーキの移動距離を測定する。	無積載片側ブレーキで、3 秒間開放かご移動距離が 20mm を超えていること。
(7)	ブレーキパッドの動作感知装置	作動の状況	動作位置を確認する。	ブレーキ開放時に接点が開である。又は締結時に接点が閉であること。
		寿命	稼働回数又は経年を確認する。	稼働回数が 150 万回を超えていること又は設置後 3 年を経過していること。
(8)	電磁接触器 (SR1,SR2)	健全性の監視の状況	保守ツールにて常時ＯＮ 故障検査手順を実行し、確認する。	機器故障と判定され、制止すること。
		劣化の状況	動作回数又は経年を確認する。	設置後の動作回数が規定回数到達時、又は設置後 10 年を経過していること。 動作回数 SR1　：100 万回　SR2　：50 万回
(9)	かご戸スイッチ	スイッチの全閉位置からの距離	金尺等により測定する。	規定値を超えていること。 横開き　：　5～6.5mm
(10)	各階乗場戸スイッチ	戸閉時フックのかかり代	金尺等により測定する。	規定値を超えていること。 横開き　：　12～15mm
上記 (1) ～ (10) の検査結果で「否」又は別記第一号 1-(14) ・ 3-(3) ・ 4-(11) の検査結果で「要是正」又は「要重点点検」の判定がある場合は、別記第一号 2-(9) 「戸開走行保護装置」の検査結果を「要是正」又は「要重点点検」と判定する。				

この印刷物に記載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
版権所有：日本オーチス・エレベータ株式会社